

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師 看護師として5年以上実務経験を有する 専任教員		2年次	後期	30時間	1単位
科目設定理由	地域・在宅看護に重要な法令・制度などの理解を踏まえて、訪問看護サービス提供の具体的な内容を理解する。また、事例を通して地域・在宅看護における支援を理解し、地域で暮らす人々の暮らしを支える看護やマネジメントおよび看護師としての姿勢、地域・在宅療養を支える多職種との連携を学ぶことを目的に当該科目を設定した。					
学習目標	1 地域における暮らしを支える看護を理解する 2 地域・在宅看護における多職種連携・協働の必要性を理解する 3 地域・在宅看護におけるマネジメントを理解する 4 事例を通して療養者の状況に応じた支援の方法を理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1~6	地域における暮らしを支える看護	1 訪問看護サービスの提供 (1) 訪問看護が提供するサービス (2) 訪問看護ステーションの管理・運営 (3) 訪問看護サービスの質保証 (4) 訪問看護の記録 (5) 地域での暮らしにおける災害対策 2 看護師に求められる態度・知識・姿勢 (1) 訪問時のマナー、心構え、態度と行動 (2) 家庭訪問演習				講義 演習
7~9	多職種連携・チームでの協働	1 地域における多職種連携・協働 (1) 多職種との連携 (2) 社会資源との連携 (3) 連携・協働における看護師が果たす役割				講義
10	地域・在宅看護のマネジメント	1 地域・在宅看護マネジメント (1) マネジメントの考え方 (2) 多様な場におけるマネジメント (3) 介護保険制度におけるマネジメント 2 地域ケア会議				講義
11~14	事例で学ぶ 地域・在宅看護の実際	1 地域・在宅における時期別の看護の実際 (1) 各時期における看護の特徴 2 療養者の疾患・状況別の看護の実際 (1) 医療的ケア児 (2) 脳卒中の療養者 (3) 慢性閉塞性肺疾患の療養者 (4) ALSの療養者 (5) パーキンソン病の療養者 (6) 認知症の療養者 (7) 終末期の療養者				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤		河原 加代子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践		河原 加代子 他		医学書院	
	写真でわかる訪問看護アドバンス		押川 真喜子 監修		インターメディアカ	
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験、課題レポート、演習、出席状況などから総合的に判断する					